



5月の園だより

令和5年5月1日
目黒区立中央町保育園 園長

鮮やかな若葉の緑がまぶしい季節になりました。園庭には、5歳児クラスが作った鯉のぼりが風に揺られながら元気に泳いでいます。新年度が始まり1か月が経ち、子どもたちは新しい環境にも慣れてきて、部屋や戸外で楽しく遊ぶ姿が見られます。

0歳児クラスつくし組の様子を見に行った時のことです。玩具に手を伸ばしたり、保育士のそばで這い這いしながら笑顔を見せていた子どもが、私の顔を見ると人見知りをして担任の元へと寄り添っていました。入園してまだ1か月ですが、子どもたちは毎日関わっている保育士の顔を覚え、一緒にいることでの安心感と信頼関係が着実に築かれていることを感じ嬉しく思いました。おうちの方と離れて過ごす保育園での生活が、子どもたちにとって安心して過ごせる場になるよう、全職員一丸となって保育を進めていきたいと思えます。

先日はお忙しい中、保護者総会へのご参加ありがとうございました。子どもたちの様子や保育内容について保護者の皆様と共有させていただく機会になりましたこと、感謝申し上げます。ご家庭と園とで子どもたちの成長を見守り、共に子育てを楽しんでいきたいと思っています。5月、6月にはクラス懇談会を予定しております。ぜひご都合をつけて参加いただきたくお願いいたします。

今月の予定

春の定期健診（0・4・5歳児クラス）

※上記クラス以外の春の定期健診は決定次第お知らせいたします。

中旬 身体計測 避難訓練



クラス懇談会予定

1歳児クラス

5歳児クラス

4歳児クラス

0歳児クラス

こいのぼり作りの様子



もみじ組（3歳児クラス）



ハサミで1回切りをしてうろこを作り、しっぽの部分は保育士に手伝ってもらいながら連続切りに挑戦して作りました。うろこや目の部分を「どの辺につけよう…」と考えながら糊で貼っていました。

いちよう組（4歳児クラス）



うろこの部分をクレヨンで自分の好きな模様で描き、上から絵の具で塗って色をつけました。クレヨンで描いた模様が絵の具の中から浮き上がり出ると「おお〜」と歓声が上がっていました。

ぼぶら組（5歳児クラス）



ラベルシールを自分で好きな形に切って布に貼り、上から布用絵の具を塗って版画のようにして作りました。乾いた後に自分でシールをはがし、模様が出てくると「ちゃんとロケットになってる」「なかなかいいじゃん」と友達同士で満足気に見ていました。



入園、進級した子どもたちの様子をお伝えします



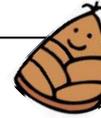
新しいクラスとなり1か月が過ぎました。入園、進級した子どもたちも少しずつ慣れてきて、保育室や園庭から楽しそうな声がたくさん聞こえてくるようになりました。今回は乳児クラスの様子をお伝えしたいと思います。



つくし組（0歳児クラス）

新しい部屋や保育士に少しずつ慣れ、抱っこされると安心した表情になってきました。低月の子どもたちは、横になりながら揺れる吊り玩具を目で追ったり、音のする方に顔を向けたりしています。「いい音だね」と優しく語りかけられる声に、保育士の顔をじっと見て何か感じ取っているようです。高月の子どもたちは、保育士がやってみせる遊びに“何かな”と注目し、すーっと自ら保育士の膝から降りて手を伸ばして触れてみたり、いじったりしています。窓につけていた吸盤遊具をペリペリと手ではがせると嬉しくて笑い、もう一度ピタッとくっつけて「おっ」と保育士と目を合わせて共感していました。色々なことを感じ取ったり、試したりを繰り返し保育士と楽しんでいきます。

たけのこ組（1歳児クラス）



進級児も新入児も少しずつ新しい環境や保育士にも慣れ、安心して食事や昼寝が出来るようになってきました。室内ではダンボールの箱押しが大人気で、“ヨイショヨイショ”と箱を押して進み、周りにいる保育士や友達に手を振っています。箱の中に自分の好きな絵本やブロック、人形などをたくさん詰め込んで力強い足取りで運ぶことも楽しんでいきます。また「ここ（すわっ）てー」と、友達に箱の中へ座ってと誘うとタクシーのように友達を乗せて運転ごっこを楽しむ姿もあります。乗っている子も押ししている子もニコニコ笑顔です。安心できる環境のもと遊びが広がり、友達とも関わろうとする姿も増えてきている子どもたちです。これからも自分の好きな遊びを満足するまでできる環境を大切にしていきたいと思います。



どんぐり組（2歳児クラス）

新しい環境に慣れてきて少しずつ見通しを持って自分から準備をしようとする姿が見られてきました。友達がテラスで靴を履き、園庭に行く準備をしていると「行く」と言い、帽子と靴を持ち自分でかぶったり履こうとしたりしています。上手くできないこともありますが、自分でできると自信満々の表情です。階段を降りて園庭に出たらすぐにバケツを用意し「ダンゴムシ探す」と言います。なかなか見つけれないと「先生も見つけて」と保育士の手を引いて虫のいそうな場所まで引っ張っていき、プランターをどけてもらい顔を近づけて探しています。見つかると自分が先にと手を伸ばし、捕まえた虫をバケツに入れ保育士に「見て」と伝えに行きます。“これがしたい”“楽しい”“自分で”がたくさんあるワクワクドキドキのどんぐり組を楽しんでいきます。